



みんなで子育てNo.11

企業内家庭教育研修を実施！

企業内家庭教育研修は、岐阜県・岐阜県教育委員会・岐阜県経済同友会の三者が平成20年度に結んだ協定をきっかけに行っている事業です。各会社や個人が抱えている課題を克服し、「ワーク(仕事)」と「ライフ(生活)」のバランスを保ち、「家庭を大切にすることが「企業を元気にする」と考え、研修や講師のコーディネートをしています。

＜企業の願い・社員の願い＞

- ・家庭教育全般(遊びの重要性、親子のコミュニケーション、基本的な生活習慣の育成)
- ・子どもの生き方(夢や希望、読書と生活、心の教育、福祉・ボランティア等)
- ・今日的課題(食育、防犯対策、ネット社会、防災)

【環境生活政策課 担当者が研修をコーディネートします】

- ・事前相談、講師との打ち合わせ
- ・講師派遣(謝金不要、交通費実費)

企業内
家庭教育
研修

(株)バイパス給食センター 研修テーマ:「どの子ども職場で輝くために」

実施日:平成30年11月29日(木) 17:30~18:40

講師:愛知淑徳大学講師:板倉寿明 氏(前岐阜本業特別支援学校校長)



《研修内容》27名

●障がいのある子に働く喜びを

- ・事例を基に、障がいのある子が働けるようになるには、職場体験で本物の経験をして、その子が成長する機会が必要だと話されました。
- ・「可能性を信じて支え続ける事で、人は伸びる。」という信念が35年間特別支援教育に携わった先生だからわかる子どもの目線からのお話で、学び多い研修でした。

この研修を行おうとされた事業者の温かさを大いに感じた会でした。

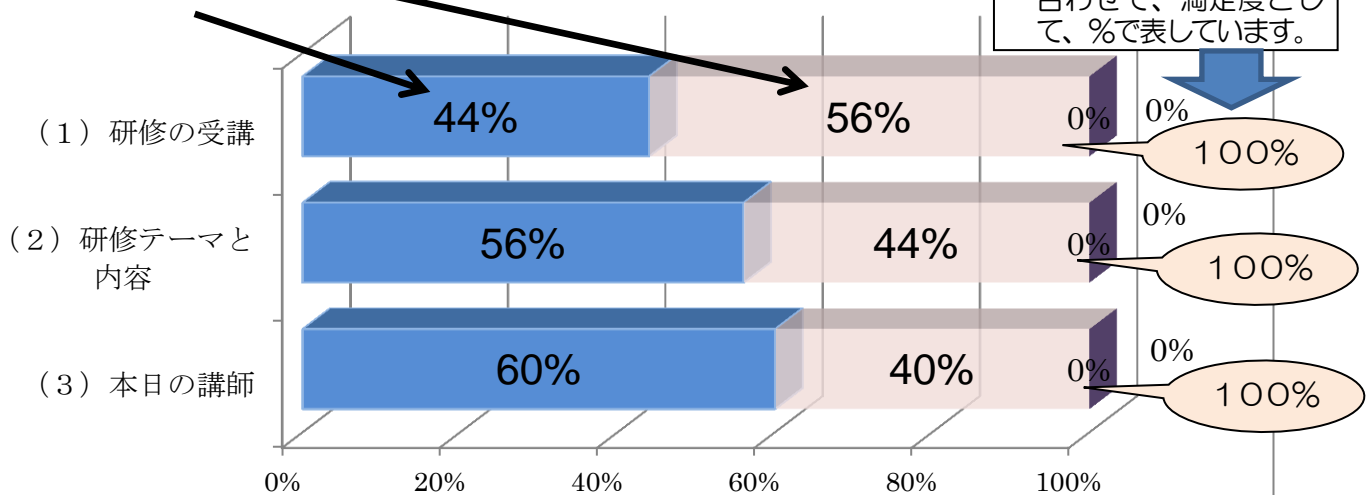
《参加者の感想》

- ・日常わたしたちが気づかない事をすごく新鮮に受け止める事ができる。当たり前じゃないということの大切さに気付きました。良い機会を与えていただきました。
- ・どうしても視点が健常者の見方になってしまう所がありました。本日の話を聞いて、「逆に学ばせて頂いているんだ」と考えを新たにしました。
- ・温かいお人柄が感じられて、素直な気持ちでお話を聞くことができました。
- ・お互いを思いやる気持ち、常にそういう気持ちを持ちながら働けるということは大切です。

満足度

企業内家庭教育研修について (株)バイパス給食センター

■ 1 大変よい ■ 2 よい ■ 3 あまりよくない ■ 4 よくない



株式会社トーカイ

研修テーマ:

「1. 体力年齢を知ろう! 2. 家族でふれあおう!」



実施日：平成30年9月16日（日）9:00～15:30

講師：岐阜保健短期大学 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 教授 小島 誠 氏

作業療法学専攻 教授 廣渡 洋史 氏 他7名

：岐阜県レクリエーション協会 理事 廣瀬 友紀 氏



《研修内容》会場OKBぎふ清流アリーナ 650名

●体力年齢を知ろう

・上体起こし、腕立伏臥腕屈伸、握力、2ステップテストの測定及び足型や足把持測定、バランス検査等それぞれ体力年齢がわかるもの。

●家族でふれあおう：ジャンケンやシュウマイジャンケン、握手でジャンケンタッチ、ミナモ体操脳トレバージョン等



【研修の様子】

今年で6回目の企業内家庭教育研修です。企業による運動会は組織的な競技が多く、盛り上げもよく、家族で楽しめる雰囲気がありました。

今回の体力測定は、親子での参加があり、健康体力というより、体力試し、体力向上を親子で目指すという雰囲気が出ていて微笑ましいですね。

親子レクでは、子どもが楽しみながら親も一緒に楽しんでいる姿があり、日ごろの関わりの良さを感じました。ミナモの参加により「ミナモがいるよ」と親子で声を掛け合い、会場の雰囲気を柔らかく盛り上げることができ、親子での楽しい1日になったといえます。



＜参加者の感想＞

- ・親子双方にとって、体力年齢を知り、目標を定めて改善に向けて取り組むことは家庭教育上非常に有益であると感じました。
- ・自身について知ることができたり、家族とのコミュニケーションを図ったりする機会になりますので、非常によい内容であったと思います。
- ・学生さんを含め、非常に気持ちの良い対応をしてくださったと思います。親子体操ご担当の方も、家族が揃って参加しやすい雰囲気を作ってくださったと思います。

満足度

企業内家庭教育研修について（株）トーカイ

